



子どもを虐待から守る!

千葉県議会議員〈我孫子市選出・無所属〉

水野ゆうき 36歳

千葉県議会予算委員会「児童虐待撲滅」に向けて徹底質疑!

2月定例千葉県議会において、水野ゆうきは4年連続で予算委員会委員として徹底的に質疑を行いました。千葉県野田市における児童虐待死亡事件においては、女兒が何度もSOSを発していたにもかかわらず、行政機関の不手際等が重なり最悪の結果となってしまいました。つらい日々を過ごしていた女兒のことを思うと無念でなりません。

水野ゆうきは既に2017年の予算委員会において、児童相談所のあり方等について課題があるとし質疑を行っていました。千葉県がまさに対策を講じているさなかに発生してしまった事件です。社会を構成するすべての大人が「子ども」を守るために責任を持つこと、そして、前倒しでの関係機関の連携強化、児童相談所の体制・運営見直しを求めています。

【千葉県における児童虐待の課題】

- 学校、児童相談所、警察、教育委員会の連携不足・情報共有体制の不備
- 児童相談所の多忙化：千葉県内6児童相談所の虐待相談件数 **6,811件** (平成29年度) で **全国4番目に多い**
- 専門職員の不足：一人当たり平均50件担当 ○児童相談所の執務環境 ○長期欠席児童生徒への対応
- 高圧的・威圧的な保護者への対応 ○一時保護及び解除のフロー見直し ○一時保護解除後のフォロー

【水野ゆうきの質疑と提案】

- 松戸・野田・柏・流山・我孫子市を所管する柏児童相談所の児童虐待相談対応件数が県内で最も増加している背景を考慮した児童福祉司の配置基準・増員や任用要件の見直し
- 一時保護解除のフロー見直し
- 既に他県で行っている警察と児童相談所の間における児童虐待事案の全件共有
- 児童相談所職員増員による体制強化と専門性向上
- 関係機関すべてが参画できる高圧的な保護者に対応するロールプレイングを取り入れた現場立ち入り訓練の実施
- 児童相談所の執務環境の整備

【千葉県の児童虐待防止対策】

- 平成31年度当初予算で児童虐待防止対策事業として3億3千万円計上
- 事件を検証する第三者検証委員会設置
- 平成29年度～5年間で職員約200名増員
- 全児童相談所に弁護士と警察官OB配置
- 狭く老朽化した千葉県中央児童相談所を移転し、定員数と部屋数を増加(2020年度中)
- 児童相談所全国共通ダイヤル「189」の普及・啓発
- 24時間365日電話で児童虐待の通告等に対応する子ども家庭110番(☎043-252-1152)設置

我孫子市根戸、久寺家、つくし野地区内の交通渋滞解消に向け、布施入り口交差点の左折レーン設置に大きく前進!

背景と課題：慢性的な渋滞状態にある国道16号のバイパス的な役割をしていた我孫子・関宿線。しかし、平成22年に新大利根橋有料道路の無料開放により、茨城県からの流入が**1.7倍**増え、我孫子・関宿線は柏市布施入り口交差点から我孫子市根戸交差点にかけて朝夕を中心に渋滞を引き起こしています。

水野ゆうきの予算委員会での質問に対し、県は「詳細な交通状況を調査・分析した結果、茨城県方面から国道6号方面に左折する車両が多いことが渋滞の要因であると判明した」と答弁。その渋滞を避けるために我孫子市根戸、久寺家、つくし野地区内の住宅街や通学路に車両が入ってきており、高齢者や児童生徒の安全が懸念されています。

水野ゆうき：
左折レーン設置を!

千葉県答弁：渋滞解消のためには茨城県方面から国道6号に左折レーンを設置することが効果的。左折レーン設置に向けた交差点詳細設計と設置の支障となる歩道橋の改修設計を行っている。

断面交通量の経年変化【平日】(6時～21時)



「湖沼における外来水生植物対策事業」1千万円計上!

水野ゆうきが県議会で幾度となく要望し、取り組んでいる手賀沼における特定外来生物（ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイ）対策。今回の予算委員会でも水野ゆうきは取り上げ、千葉県は平成31年度に新規事業に着手します!

平成31年度の新規事業 湖沼における外来水生植物対策事業

- ①手賀沼をモデルとした水生植物繁茂状況等調査
- ②効果的な駆除方法や持続的・継続的な管理手法の検討
- ③市民団体等への支援対策の検討

水野ゆうきのこれまでの実績

- 「手賀沼水循環回復行動計画」を改定し新たに「特定外来生物への対応」を「行動メニュー」に追加
- 住民団体等と合同勉強会開催による特定外来生物の駆除についての情報と知識共有

教育現場の環境改善と質の向上に向けて：教職員の多忙化解消

子ども達が大半の時間を過ごし、成長過程で多大な影響を及ぼす教育現場の環境改善や質の向上は非常に重要であることは言うまでもありません。部活動指導のみならず昨今では英語教育やICT教育が加わり、また社会状況の変化等を背景として、学校教育における課題も一層複雑・多様化してきていることから教職員が多くの業務を抱え、教員のなりて不足や代替講師の未配置などから、教員の多忙化は全国的に問題となっています。予算委員会において、課題解決に向けた質疑を行いました。

【千葉県における教育現場の課題解決に向けた水野ゆうきの質疑】

○公立小中学校教職者等の代替講師未配置問題への取り組み

課題：政令指定都市の千葉市を除く千葉県内公立小中学校における休職者等の合計1,147人（療養休暇86人、看護休暇14人、出産休暇218人、育児休暇755人、他74人）に対し、代替講師未配置の学校が存在します。

- 対応①** 講師確保に向けて年齢要件を65歳以上でも任用可能に!
- 対応②** 講師希望者の利便性向上のためスマートフォンでの登録を平成30年度より開始し、登録者数が増加しました。
- 対応③** 教員免許状を保有していながら教職に就いていない県内外の新たな人材発掘のため講師登録説明会実施。

○教員の負担軽減のために配置されるスクールサポートスタッフの拡充

課題：教員の長時間勤務。学校の業務改善を図り、教職員の事務的負担を軽減するために授業や会議準備をするスクールサポートスタッフが必要となっています。

- 対応①** 平成30年度にモデル事業として、小・中・特別支援学校22校にスクールサポートスタッフを配置。平成31年度は配置対象を**120校に拡充**します。
- 対応②** スクールサポートスタッフには退職教員や配置校近隣に居住する地域の方々など多様な地域人材を採用していきます。

○特別支援学級：継続的な担任による指導を要望

課題：様々な学校事情により特別支援学級の担任が臨時任用講師となっている場合、単年度で担任が交代してしまい、児童・保護者の不安が広がっています。

- 対応①** 特別支援学級の担任には、継続した指導が行えるように**可能な限り正規教員を充てる**ように、千葉県教育委員会から各市町村教育委員会に指導していくことに。

4月7日(日)は千葉県議会議員選挙の投票日です。

やる気! 元気! ゆうき!

千葉県議会議員

〈我孫子市選出・無所属〉

水野ゆうき

【プロフィール】1983年、我孫子市出身(根戸生まれ/白山育ち・在住)。我孫子市立第四小学校、米国現地校、インターナショナルスクール、私立茗溪学園中学校・高等学校、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。民間企業にて役員秘書を約3年勤め、民放テレビ局報道局(経済部・報道番組部)にて生の報道現場を経験。2011年、我孫子市議会議員選挙当選(当時最年少)。2015年、千葉県議会議員選挙(我孫子市選出)にて当選(完全無所属・現在女性最年少)。

【水野ゆうき事務所】

我孫子市天王台2-10-7 ロイヤルパレス天王台1階
電話：04-7197-6100 メール：info@mizunoyuuki.com

Facebook 水野友貴

twitter @yuukitten

公式ホームページ

https://mizunoyuuki.com/ QRコード→

